

上島町の皆さんこんにちは！
魚島地区担当ALTのストライカー・ブライアンです。

3月2日にウオシマックスのライブを行いました。僕は元々ギターを弾きますが、ウオシマックスでベースを弾くことになりました。中学校2年生の時から、ギターの弾き方に興味を持つようになり、毎日何時間ぐらいか練習し、音楽理論も勉強して、中学校3年生の時に、バンドに入りました。みんな音楽理論を学んでいましたが、そんなに上手ではありませんでした。5人で5曲ぐらい作って、1年間で2回出演しました。それから、みんな忙しくて練習の時間がなくなってしまい、会わなくなりましたが、僕は音楽に夢中で、毎日のように練習を続けました。バイトで働いて、貯めたお金で録音の機械や楽器を買って、一人での録音活動を始めました。大学二年生まで続けて、5曲のCDを作り出しました。大学二年の末から、勉強で忙しくなったのでレコーディングをやめて、学業に専念しました。一人で録音した曲で出演することは無理だし、バンドにも入ってなかったの、ライブに参加することもなかったです。だからウオシマックスに入って、文化祭と3月2日のライブに参加できて、本当に良かったです。

僕にとって、音楽は生活の大切な部分の一つです。中学校から高校2年にかけて、僕の夢はスタジオでCDを録音することでした。でもバンドに入らないと、ライブやスタジオレコーディングすることができなくて、ライブやバンドメンバーと一緒に練習することの楽しさをどんどん忘れてしまいました。ウオシマックスと練習や出演をして、バンドに参加するやライブの



素晴らしい思い出しました。だから、アメリカに帰ってバンドに入ったら、できる限りライブをしようと思います。

しかし、バンドに入らなくても、ライブは出来ますから出演していなかった理由はそれだけではなく、舞台上で緊張して、やる気がなくなってしまい、それが自分自身に制限をかけていました。ウオシマックスのライブを通して、それを分かるようになりました。ウオシマックスに参加するのは楽しいですが、僕の場合、もっと深い意味があると思います。

ライブの前に緊張についてメンバーの佐伯さんと討論しました。その討論やウオシマックスのライブから、今までの生活の間違いに気づきました。人間は自然に周りの雰囲気や人を見て、その環境に慣れるようにしています。周りの事も大切なことだが、自分が周りに管理させられたら、生活に自由がありません。人生は長くないので、生きている限り、緊張することは必要だと思います。間違えても、他の人が自分をどのように見るかということも大切ではないと思います。間違えることが失敗ではなく、周りの事や他人の御意見に惑わされて自分の夢やしたい事を限定させるのが失敗だと思います。また、自分と自分の周りのバランスを考えた方がいいと思います。

今までの僕は周囲に管理させられていました。ウオシマックスのお陰で、僕の考えの間違いが分かるようになりました。だからこそ、ウオシマックスのメンバーや3月2日に見に来たお客様に感謝したいと思います。皆さんのお陰で人生の道が進歩出来ました。



▲3月2日に行われたウオシマックスのライブの様子

各地区の英会話教室

《弓削》毎週水曜日 19:30~

弓削地域交流センター第1会議室

《生名》毎週月曜日 8:45~ 生名公民館

毎週火曜日 19:30~ 生名公民館

《岩城》毎週木曜日 20:00~ 岩城総合支所庁舎

《魚島》毎週水曜日 19:30~ 魚島開発センター

こんにちは 町長です

念願であった学校給食をいただきました。

当日のメニューは「ビビンバ」。上島町給食の質の高さは噂に聞いていましたが、想像以上に美味しくボリウムもあり、子どもたちを羨ましく思いました。ちなみにデザートには地元の「せとか」が添えられていました。

その日は二月と三月生まれの誕生日会でもあり、私も二月なので、六年生が書いてくれたお祝いのメッセージが添えられるなど、皆さんの心遣いに感激しました。ランチルームで六年生お二人の司会により、電子黒板を使ったクイズなどのゲームや、一緒に並んだかわいい子ども達との会話など、楽しい時間を過ごさせていただきました。

片付けも他の六年生が下級生を導きながら当たり前のように手伝い、その優しい動きは頼もしさも兼ね備えていました。

公式行事以外の小学校の空気に触れ、のびのびと明るく動き回るその笑顔や、手を振って挨拶してくれる子ども達に安心感を覚え、見えない所まで生徒全員に細かい配慮をしてくれている先生や、学校関係者の皆さんに、改めて感謝の気持ちを伝えたいと思います。

ともすれば、特別な行事や結果に目を奪われがちですが、それよりも平日の積み重ねの方が大切である事を再認識いたしました。

上島町長 上村俊之

